

黄金森公園陸上競技場 施設整備を問う

答 スタンド屋根の補修を検討する

問 黄金森公園陸上競技場スタンド屋根はサビが発生している。雨どいは機能していない状態である。早急な補修が必要ではないか。対策を問う。

副町長 早急な補修が必要と考えている。対策を検討していく。
都市整備課長 黄金森公園陸上競技場は供用開始が平成12年であり、サビが落ちている状態である。関係課と協議して対応する。

問 陸上競技場の駐車場は逆進入が多い。進入路対策をしてはどうか。

副町長 路面標示をして進行順路を示しているが、見えづらい。路面表示で新たに対応する。



黄金森陸上競技場スタンドの様子

問 町花のブーゲンビレアのモニュメントも破損している。補修できないか。



知念 富信 議員

副町長 モニュメントは、台風により破損して撤去した。今後、ブーゲンビレアにするか、はえるんにするか協議していく。

問 町陸上競技大会、島尻郡大会で役員用駐車場の空きが多く町民から疑問視されている。どの様に対応するか。

教育長 招待者用駐車台数の見直しや空きがあれば案内するなど改善していく。

子ども元氣ルームの推進を

問 小中学校で不登校生徒は何人いるか。

教育長 4月から10月末までに延べ日数で30日以上登校しない日があった児童生徒は小学生18人、中学生41人である。10日以上30日未満の欠席者は小学生20人、中学生21人である。4月から現在までの不登校の児童生徒は4人である。

教育部長 不登校生徒に対して担任、養護教諭、校長による学校での指導、教育委員会、教育相談員、地域の民生委員等が個別に細かい対応をしている。

問 子どもの貧困緊急対策事業はどの様な施策があるか。

子ども課長 子ども元氣ルームを各中学校区に1ヶ所設置している。2ヶ所の予算は約3300万円、58%は人件費であり、残りが活動費となっている。利用者は13世帯28人が現在いる。

問 子どもの元氣ルームを増設する考えはないか。

教育長 内閣府の10割補助で実施している。3年目を迎えるので取り組みの成果と課題を検証していく。